

第2回看護研究会

(看護補助者教育研修会)

平成28年 8月 6日 (土)
岡山ロイヤルホテル 2階 光楽の間

〔午前〕研修

演 題 『 尊厳を支えるケアを目指して 』

講 師 川崎医療短期大学 医療介護福祉科

教授 山田 順子 先生

〔午後〕講演

演 題 『 認知症のかたと向き合うには 』

講 師 川崎医科大学 神経内科学教室

講師 久徳 弓子 先生

(一 社) 岡 山 県 病 院 協 会

(注：類似した感想はまとめています。)

第2回看護研究会（看護補助者教育研修会）のアンケート集計（平成28年8月6日）

（ 87病院 210名 出席 ・ 202名 回答 ）

1. 研修『尊厳を支えるケアを目指して』を聞いて。

（講師：川崎医療短期大学 医療介護福祉科 教授 山田 順子 先生）

A.

a. 大変勉強になった (137名)	a. 大変分かりやすかった (103名) b. 分かりやすかった (22名) c. 少し難しかった (10名) 未記入 (2名)
b. 勉強になった (63名)	a. 大変分かりやすかった (10名) b. 分かりやすかった (41名) c. 少し難しかった (6名) e. 普通 (6名)
c. 勉強にならなかった (1名)	e. 普通 (1名)
d. 全く勉強にならなかった (0名)	
未記入 (1名)	b. 分かりやすかった (1名)

未記入 0名

B. 感想があれば一言。

- ・ とても勉強になった(4)
- ・ とても分かりやすく聞きやすかった
- ・ スライドの量も丁度良く、分かりやすかった
- ・ 介護士の原点を思い出させていただいた
- ・ 自分とは違う意見など聞いて刺激になった
- ・ 忘れていたこともあり、自分を見つめ直すことができた
- ・ 普段の業務ではあまり気づかなかったことに気づけた
- ・ 普段なんとなく自分なりの対応をしていたが、改めて考えさせられた。今後に活かしたい
- ・ 自分が介護をする上で、欠けている部分に気づかされた。今後に繋げていきたい
- ・ これからの仕事に生かして頑張りたいと思う。ありがとうございました
- ・ 聞いたことを心掛けて仕事をしたいと思う
- ・ 研修を活かして職場でも話し合ってみようと思う
- ・ 身近な事例で分かりやすく、グループワークも話しやすかった
- ・ 具体的な事例があり、それに対する方法も示してもらえたのでとても勉強になった
- ・ 具体的なシチュエーションでの向き合い方を勉強できて良かった
- ・ 患者さんとの向き合い方が、よく分かった・勉強できて良かった(2)
- ・ 人との接し方など、自分を押し付けるだけはいけないということが、とても心に残った
- ・ 人に対する姿勢・まなざしで関わっていこうと思う（柔らかい発想を持って）
- ・ 人と関わる姿勢・いい加減をしっかりと身につけて、介護士として成長していきたい
- ・ 向き合う看護・介護の勉強はとても良かった
- ・ 人と人の関係を大切にする。一人ひとりと向き合いながら介護をしていく
- ・ 介護に関する倫理や、患者さんに向き合う姿勢に感銘を受けた
- ・ 尊厳を支えることの大切さを、深く感じた・分かった(2)
- ・ 尊厳・・・難しいし大事なこと！

- ・ 常に考えなければならない尊厳を支えるということ、忘れかけていたことを見直す勉強会になった
- ・ 「尊厳」、深い。たくさんある答えの中から最善の答えを見つけるのが難しい
- ・ 個人個人で不安や気に入らないことは違う。「尊厳として」とは一人ひとりの不満の原因をつきとめ、一人ひとりに合ったケアをしていかなければならないと思った
- ・ 患者様の尊厳を大切にしつつ、職場の仲間に対してもチームで仕事をしているという意識を持ち今後仕事を行っていききたい
- ・ ケアのあり方についてすごく勉強になった
- ・ 自分以外のケアの方法も聞けて勉強になった
- ・ 演習があって、良かった・分かりやすかった(3)
- ・ ロールプレイングも楽しく見させていただいた
- ・ ロールプレイで分かりやすく硬くならず、グループワークも他院とセッションでき良かった
- ・ グループワークでいろいろな人の話・意見・考えが聞けて、勉強になった・良かった・参考になった(25)
- ・ グループになって他の人と話し合うことができ勉強になった。とても良かった(2)
- ・ グループワークで同じ介護のプロとして働く人達と情報交換・意見交換ができ、大変為になる話し合いができた
- ・ グループワークで互いの意見を伝え、聞けて良かった
- ・ 初めての方とも話ができて、いろいろな意見も聞けて良かった(2)
- ・ 演習があり、多職種との関わりもあり、他の意見も聞けて、グループワークが良いと思った
- ・ 自己紹介の演習が面白かった。一枚の紙でも、ペンの色・配置・バランスに自己紹介以上の“私”を感じることができた
- ・ グループワークで意見を話し合い、交流もできて良かった
- ・ グループワークをしたことで、会話もでき、考えることができた(2)
- ・ グループワーク等で自分達で考え、意見を出したりしていろいろ勉強になり良かった
- ・ グループワークや事例を元に考えることができたので分かりやすかった
- ・ グループワークを行うことで、違う人の考えと自分の考えを照らし合わせることができ、発想を広げることができた
- ・ グループワークがありとても勉強になった。ほぼ同じ意見でも、人によって表現等細かなところが違っているのが良かった。ありがとうございました
- ・ グループワークでどんな方が参加されているか知れて良かった。少しだが情報交換もできた
- ・ グループワークがあることで、分かりやすく考えながら講演を聞いた
- ・ グループワークは、参考になった・良い勉強になった・楽しみながら勉強になった・分かりやすかった(4)
- ・ 身近な議題がとても良かった
- ・ グループワークの事例が身近で良かった
- ・ 他院の方と関わって良かった
- ・ グループワークは面白く自分発見になった
- ・ 実際の現場であることをグループワークで考え話し合えて、学べることが多くあった
- ・ 他の病院の方の意見がとても参考になり、今後も役立てたい
- ・ グループワークが日々の業務へ役立てることができるので、とても勉強になった
- ・ 他の人と話し合いをしながらだったので、理解しやすかった
- ・ どこに問題があるかを見抜けるように考えていきたい
- ・ 自己覚知が必要というのが改めて分かった。利用者ともスタッフともお互いを認め合える関係性を築いていくことで、より良い支援をしていくことができると感じた
- ・ 自己覚知が大切なことだと分かった
- ・ 相手を認め合う
- ・ 仕事をする上で自分を知ること、相手を知ること…これからより良いケアができるように頑張りたい
- ・ 患者様－利用者様の気持ちを尊重しなければいけないと思った

- ・ 内容が深く勉強になった
- ・ 詳しく教えていただきありがとうございました
- ・ 認知症の方が大変多いので勉強になった
- ・ 事例が多く分かりやすかった(3)
- ・ 認知症について、とても分かりやすかった
- ・ 介護福祉士の勉強をした時の再確認をしたようだった。認知症支援の多くを知った
- ・ 為になる話だった。紙とか配られ、職場などで聞くよりとても勉強になった
- ・ 資料(手元)に実例を交えてだったので分かりやすかった
- ・ 資料にないスライドもあったので写す時間がなく残念だったが、内容はとても分かりやすかった
- ・ 事例を取り入れて、ケアの仕方・患者さんのあり方が分かりやすかった
- ・ 症例・事例は、興味が持てた・分かりやすかった・より理解が深まった(5)
- ・ 症例もあり、先生のくださった言い方で分かりにくい言葉も分かりやすかった
- ・ 疾患についてとても詳しく、とても勉強になった
- ・ 疾患について詳しく説明いただきありがとうございました。分かっているつもりにならず、知識を持って関わりたい
- ・ 症例がたくさんあり、いろいろなケースを知ることができた。MRI画像で正常なのをよく知らない
ので比較して見てみたかった
- ・ 認知症についての活動等のついて知れるきっかけになった。これから勉強していきたい
- ・ 認知症に対するネットワークやもろもろサービスを知った
- ・ 認知症は奥が深く、少しでも知識の片隅に入ればと思い参加した。ありがとうございました
- ・ 同じような問題を抱えている所があるなど思った
- ・ 認知症の疑いがあれば早期の治療が必要だと思った
- ・ 家族を含め早めに対応し、向き合っていきたい
- ・ 認知症はみんなで向き合っていくことが大事!
- ・ 認知症について、たくさんのが学べた・改めて知ることができた(2)
- ・ 認知症の病気・認知症の人のことを、少しは理解できた(2)
- ・ 認知症の特徴が明確に分かり、早期発見がいかに重要か分かった
- ・ 認知症の方との関わり方・向き合い方など、勉強になった・少し理解できた(3)
- ・ 認知症は関わり方が大切だということが理解できた
- ・ 認知症の症状や関わり方について、もう一度考えることができた・勉強になった(2)
- ・ 認知症の人の接し方と、認知の原因が知れて仕事に活かそう
- ・ 4人に1人が認知症になることにびっくりした。家族のサポートが大切
- ・ パーソンセンタードケアができるように頑張ろうと思う
- ・ 改めてアルツハイマー、レビーの勉強ができて良かった
- ・ 認知症(アルツハイマー、レビー、血管性)について分かりやすかった
- ・ アルツハイマー病のことが少しは理解できた
- ・ 認知症にもいろいろな認知・タイプ・種類があることが分かった(8)
- ・ 認知症の種類により、どこの部位で障害が起きるのかポイントを聞き認知症がよく分かった
- ・ 認知症の種類、特徴、認知症の方に対するケア等が前よりも理解できて良かった
- ・ いろいろな症状から病名が変わること、またそれに対する治療・ケアを考えていけない
と思った
- ・ ある程度勉強していたため、より深く理解できた
- ・ 認知症の細かな内容が、とても理解できた
- ・ 写真なども多く分かりやすかった
- ・ 専門的な話が聞けて良い機会になった

- ・ 認知症のタイプ別で症状が違うことが分かった。ケアのポイント・レジユメがほしかった
- ・ 認知症の種類・違い・特徴が理解できた(5)
- ・ 認知症の種類によって対応が変わってくるので、これから活かしていきたい
- ・ 認知症の種類を理解し、個別の対応が大切なことが分かり、今後ケアにあたりたい
- ・ どのような認知症なのか把握することが大事なのだと分かった(2)
- ・ ケアのポイントが理解でき、今後に活かせると思う
- ・ 認知症の患者さまを個々に深く知ることが始まりなんだと感じた
- ・ もっと知識を入れて、それぞれに合った正しいケアをしていかなければいけないと思った
- ・ 認知症の方のことを理解し、その方に合った関わりを考えていきたいと思った
- ・ 認知症の方との接し方は、尊重、理解すると共に人と人との関わりが大切だと思った
- ・ 認知症の方の気持ちを考えながら支えていかないといけないと思った
- ・ 認知症の方と向き合うことが、とても為になった
- ・ 明日から言葉ではなく、感性に語りかけられるように働いていきたいと思った
- ・ 言葉で説得、励まし批判するのではなく、優しい気持ちで接したいと思う
- ・ 優しい気持ちで接する、イライラして接しないことと思う。自分もなりたくない
- ・ 病気で BPSD が起こることを理解した上で認知症の方の行動には理由・目的があること、患者にとって一番辛い思いを汲み取ることで、早期発見へ周囲全体で気づけるように繋げていきたい
- ・ 認知症の方に向き合うのは難しいが、研修を活かし、よく観察することから始めたい
- ・ 親に少し物忘れが見えてきたのでしっかり見ていきたいと思う
- ・ 家族に認知症の人がいるためとても身近なことで、勉強になった。仕事にも生かしたいし、今後もっと認知症への理解を深めていきたい
- ・ 物忘れは今自分自身にでもあることなので、いつ自分のことになるのか、少しでも早く気づいてほしいし、身近な人もよく観察してあげたい
- ・ 認知症という病気については勉強になったが、認知症患者の特性からなる行動や言動に対する具体的な対応・接し方等も聞きたかった
- ・ 医学的な面では勉強になったが、現場での認知症患者との関わりやケア・接し方等、身近な面からのお話もう少し聞きたかった
- ・ 認知症の方にどう語りかけたら良いのか・病棟での関わりなど、もう少し詳しく知りたかった(2)
- ・ 認知症の方との向き合い方について、少ししかなかったので残念だった
- ・ もっとどのように患者さんに対応すればよいか具体的に！
- ・ 病気（認知）についてはよく分かったが、ずっと聞き続けるのは辛かった
- ・ 介護からの対応が少なかった
- ・ 最後の方のことがもっと詳しく知りたかった
- ・ 認知症は難しい
- ・ 認知症の難しさ、改めて確認した気がした
- ・ 難しいと思ったが、深いことが分かった
- ・ 自分も食生活に気をつけたいと思った
- ・ 自分になってしまったら・・・、危険因子を変えて生活習慣を見直していこうと思う
- ・ もし自分がそうなったら周りの家族が・・・と思うと、避けられない病気だと思い一生懸命聞いた。今後老人が増え認知症の人も増加し、今のように手厚く一人ひとりに向き合っなどと言えない時代がくるのではないかと思われるので、今からしっかり勉強して、できれば死ぬまでずっとこちら側にいたいと改めて思った。
- ・ 認知症の予防策はないのか・・・と思った
- ・ 新オレンジプランは必要だなと思った
- ・ 健康パスポートを見てみたいと思う(2)
- ・ もう一度資料を見直す

- ・ 少し専門的な内容だったので難しかった
- ・ 医学的なことが多すぎて話についていけない
- ・ CTの図解の説明など、座学的に専門的で少し難しかった
- ・ 難しい専門用語が少しあった
- ・ 薬の話や診断方法など話が少し難しかった
- ・ 難しすぎる
- ・ 脳の話ばかりで、看護補助者はそこまで勉強しないといけないのか
- ・ 病気、薬のことについて少し難しかった。いろいろな症状への対応をもう少し詳しく知りたかった
- ・ 難し過ぎてあまり頭に入らなかった
- ・ 難しい講義でよく分からなかった
- ・ もう少し分かりやすくてもよかった
- ・ テンポが悪い。もう少し分かりやすくしてほしい
- ・ ゆっくりと話してほしい
- ・ 話が早すぎた(頭がついていけない)
- ・ 少し話が長かった。もっとグループワーク等入れてもいいと思った
- ・ 話を聞くだけだったので少し難しかった。資料にはないスライドもあって見えなくて
- ・ 資料にないスライドの文章を写したかったが説明が速く写しきれなかった。全てのスライドを印刷してほしい
- ・ スライドがない部分があったので追加してほしい
- ・ 途中のレジюмеがない部分が残念だった
- ・ 口調が単調で眠かった(2)
- ・ 眠かった。午前中にしてほしい
- ・ 眠たくなった
- ・ 眠たかった。レジюмеも見にくかった
- ・ 話し方が一定で眠くなった。もっとメリハリのあるしゃべり方をしてほしい
- ・ 資料の文字が小さすぎる。スライドと話が早く、ついていけない
- ・ 資料の文字が小さくて、読めない・見づらい・少し残念(5)
- ・ 午前と午後の講義を反対にしてほしい
- ・ ありがとうございます(2)

3. 今後勉強したいこと、聞きたいこと等、希望する研修内容があればご記入ください。

- ・ 介護全般について
- ・ 院内デイケア(どんな内容で対象者はどのように決めているか)の話を知りたい
- ・ 認知症は奥が深いので、もっと聞きたい。またしてほしい
- ・ 認知症の人との関わり方・話し方、具体例を教えてください(3)
- ・ 知的障害者に関すること・ケア等、障がい者との関わりについて
- ・ 認知症のケアなど、実技
- ・ 認知症の治療について(薬、それ以外の治療法)
- ・ 認知症の人からの暴力・暴言への対処法
- ・ 患者様・利用者様からの嫌な言葉に対して
- ・ 精神患者さんの心理、病気の理解、関わり方
- ・ うつ病のある患者さんとの関わり方
- ・ 適応障害について
- ・ 疾患に対する介護技術・対応
- ・ より安楽な看護(介護)等のこと
- ・ 日常生活援助方法など勉強したい
- ・ 患者さんの移動の仕方、動かし方を勉強したい
- ・ ポジショニング
- ・ 体位変換
- ・ 清拭、洗髪、足浴、食介等の実践方法・コツなど
- ・ 移乗
- ・ 排泄
- ・ 入浴介助、排泄介助等、細かい作業の連携など基本に立ち返るような研修
- ・ 環境整理(アルコールで拭く)、オシメの漏れない・ただれない方法、入浴で洗うポイント
- ・ 口腔ケア(2)
- ・ 食事
- ・ 食事介助(3)(咀嚼機能や誤嚥などの話も聞きたい)
- ・ 褥瘡予防
- ・ リハビリ予防
- ・ 依存症について
- ・ 抑制、拘束、虐待についての道徳
- ・ 生活習慣について
- ・ ターミナルケアについて(2)(介護職の関わり方等)
- ・ エンゼルケア(目的・意味・方法・留意点等)
- ・ 介護と看護の違い・考え方・仕事の内容等知りたい
- ・ 看護補助者の基礎的な研修

- ・ 病院で働く看護補助者向けの研修があれば
- ・ 自分自身の調整を含めて、介護との向き合い方
- ・ 介護士として、病気の人に対する接し方を教えてほしい
- ・ 看護助手が知っておくとよい、医療・感染について
- ・ てんかんがどのような状態か分からない
- ・ 院内でよく見られる感染症と、感染予防の仕方
- ・ 感染症などの専門用語を詳しく勉強したい (MRSA、CRE、RS、ESBL など)
- ・ 仕事中に起こりうるリスク、危険防止
- ・ 緊急時の対応など
- ・ 医療に関すること
- ・ これからも分かりやすい講義を多数お願いしたい
- ・ 糖尿病 (2)
- ・ リウマチ
- ・ 高次脳機能障害について
- ・ 接遇
- ・ リスクについて
- ・ 医療ケア等いろいろ
- ・ 仕事に関係しそうなことは学びたい

4. 今回の研究会に参加した動機はどれですか？

- a. 病院から「行きなさい」と言われて (150) 名
- ・ 行きなさいと言われたが、自分自身の勉強の為にも
 - ・ 強制ではない
 - ・ 選んでもらった (参加してみて大変良かった)
- b. 自分から積極的に出席した (43) 名
- c. その他 (7) 名 未記入 (2) 名
- ・ 掲示案内があり、打診があったのと内容に興味があったから
 - ・ 認知症についての研修会を探していたところ、病院から今回の研究会を勧められた
 - ・ 参加したいかどうか？尋ねられた
 - ・ 職場から1人費用負担枠があり、相談して参加
 - ・ 病棟から1名ずつと言われ、自分で参加すると言った
 - ・ 家族・患者様に認知症・予備軍がいるためこれからどうしたらよいか？

・ 貴重な時間をありがとうございました

【年 齢】	【勤務年数】	【職 名】
～19歳 (3)	～6ヵ月未満 (13)	看護補助者 (118)
20～29歳 (41)	6ヵ月～1年未満 (9)	介護福祉士 (64)
30～39歳 (52)	1年～5年未満 (76)	ヘルパー (8)
40～49歳 (53)	5年～10年未満 (37)	介護手・介護士・介護職員 (4)
50～59歳 (39)	10年～15年未満 (34)	病棟ワーク・診療アシスタント (2)
60歳以上 (8)	15年～20年未満 (19)	ケアワーカー (1)
未記入 (6)	20年～25年未満 (9)	ケアスタッフ (1)
	25年～30年未満 (0)	未記入 (4)
	30年以上 (1)	
	未記入 (4)	

【施 設】 病 院 (194) その他施設 (3) 未記入 (5)

- ・ 老健 (1)
- ・ 通所リハビリ (1)